

## 令和4年度に開校する中高一貫教育校について

令和4年度に開校する中高一貫教育校は、下記のとおりです。

### 記

校名	改編の内容（丸数字は学級数）
水海道第一高等学校・附属中学校	併設型中高一貫教育校 （併設型中学校①、併設型高等学校⑥） ※募集学級数は併設型中学校①、併設型高等学校⑤
下妻第一高等学校・附属中学校	

※提供する学校概要は別添のとおり

※各学校の学校概要については、県教育委員会ホームページに掲載

<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/gakkou/koukou/gakkodukuri/tyuukou/about.html>



本資料についてのお問い合わせは  
高校教育課（高校教育改革推進室） 深澤、小野、飯島  
TEL029-301-5208（内5206）

## 主なねらい

### 《生徒一人一人の夢や希望をかなえる学校》

- 「地域の中の学校」として、6年間の計画的・継続的な教育活動を柱に、生徒の個性を伸長
- 探究活動を通して国際教育、科学教育等に重点を置いた教育を展開し、豊かな人間性と「起業家精神」を兼ね備えた地域のリーダーや世界に飛び立つ人財を育成
- 生徒や保護者が6年間の中高一貫教育も選択できるようにすることにより、地域の中等教育の多様化を推進

### 《見通しをもって粘り強く取り組む力を身に付けるとともに、豊かな人間性を育み、地域や世界で活躍する人財を育成する学校》

- カリキュラム・マネジメントに努め、学校教育活動全体で教科等横断的な学習や個に応じた学習、課題解決型学習を推進
- グローバル社会に対応できる「課題を発見する力」、「発見した課題を分析し、探究する力」、「解決に向け、試行錯誤しながら実行できる力」等を育成

## 水海道第一高等学校・附属中学校

## 下妻第一高等学校・附属中学校

### 併設型中高一貫教育校（内進生と高入生が互いに切磋琢磨）

【中学校】1学年1学級(40人) 【高等学校】普通科・単位制 6学級（内進生1学級、高入生5学級）

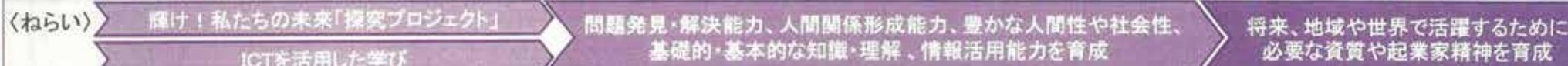
### 目指す学校像

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来を担う人財を育成する学校</li> <li>○ 地域に貢献する学校</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域社会に貢献し、国際社会に参画する姿勢と資質を育成する学校</li> <li>○ 文武不岐の実践のもと、自己の可能性を探究できる生徒を育成する学校</li> </ul> |
|---|--|

### 育てたい生徒像

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の自分に思いを致し、国際社会や科学技術の発展に対して積極的に関わろうとする生徒</li> <li>○ 多様な他者と協働しながら、主体的に知力・体力・豊かな人間性を育むことができる生徒</li> <li>○ 地域の歴史や実態を理解し、豊かな社会の実現と発展に貢献できる生徒</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知・徳・体」をバランスよく備えた、地域社会および国際社会の発展に貢献できる生徒</li> <li>○ 科学的な観察力をもち、身に付けた判断基準を根拠に行動できる生徒</li> <li>○ 身近な疑問や社会の課題へ能動的に取り組み、たくましく成長する生徒</li> </ul> |
|---|---|

### 特色ある教育活動（県立中学校との交流、ICTの活用）



- 輝け！私たちの未来「探究プロジェクト」… 1学年1学級の県立中学校7校が連携し、遠隔教育システムを用いて生徒が協働で企画・運営自分たちで事業(内容)を企画・立案し、他校の生徒たちとの協働による課題解決を体験

事業(内容)	イングリッシュ・スタディ(中学1年)	未来の自分発見講座(中学1~3年)	探究意見交換会(中学1~3年)	探究活動成果発表会(中学3年)
	ALT等と7校の生徒たちとの英語によるワークショップや共同生活	本県の施策や課題、未来などのテーマのもと、研究者等による講話や懇談会、7校の生徒たちとの意見交換や交流等	遠隔教育システムを活用し、各地域の課題や研究の進め方などについて意見交換	総合的な学習の時間や教科等横断的な学習で取り組んだ探究活動について英語と日本語で発表

- ICTを活用した学び… 1人1台端末や学習支援アプリ等を生徒が活用し、個別最適な学びや協働的な学びを充実学習履歴等を活用し、生徒が自らの学習の状況を把握することで主体的に学習を調整